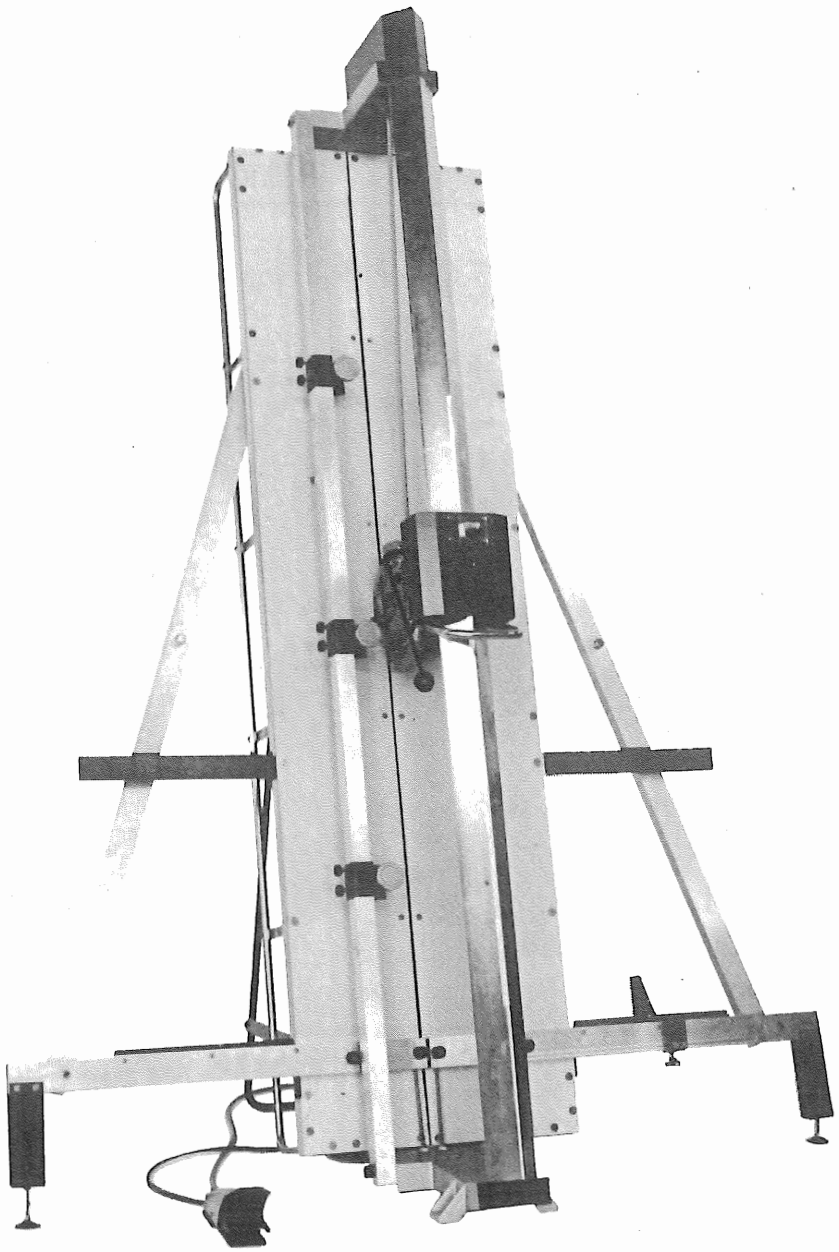
パネルソー

取扱説明書　　ＰＳ－1200

リョービ

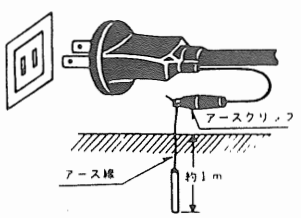


ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

●ご使用に当りましての注意事項

本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- さし込みプラグを電源に接続する前に丸鋸刃は使用説明に従って正しく、しっかりと締付けられているか確認して下さい。
- 安全カバーは身体が鋸刃に触れるのを防ぐものです。必ず鋸刃を覆い、円滑に動くことを確認してからお使い下さい。
- 材料に釘などの異物のないことを確認して下さい。異物があれば鋸刃が破損することがあり危険です。
- 工具の掃除や、切込み深さ調節、角度の調整、整備点検、部品の交換の際は必ず、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足になります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつけたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中は鋸刃乃び可動部には絶体に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。鋸刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には、作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻き込まれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴をはいて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- 使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には直ちに使用を中止して下さい。
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。
  ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
- 感電事故を防止する為にアースクリップを接地して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と、定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合せ下さい。



●特　長

- ●折りたたみ方式の組立ですので、現場へ楽に運べ、簡単に組立が出来ます。
- ●足踏式スイッチの採用により操作手間が省けます。
- ●材料高さに応じて使いわけの出来る２種類の切込用取手を使用しております。
- ●正確に直角切断が出来ます。
- ●スイッチを切るとモーターにブレーキがかかり、瞬時に丸鋸刃が停止します。

●用　途

- ●合板、ハードボード、アクリル板の長尺物切断

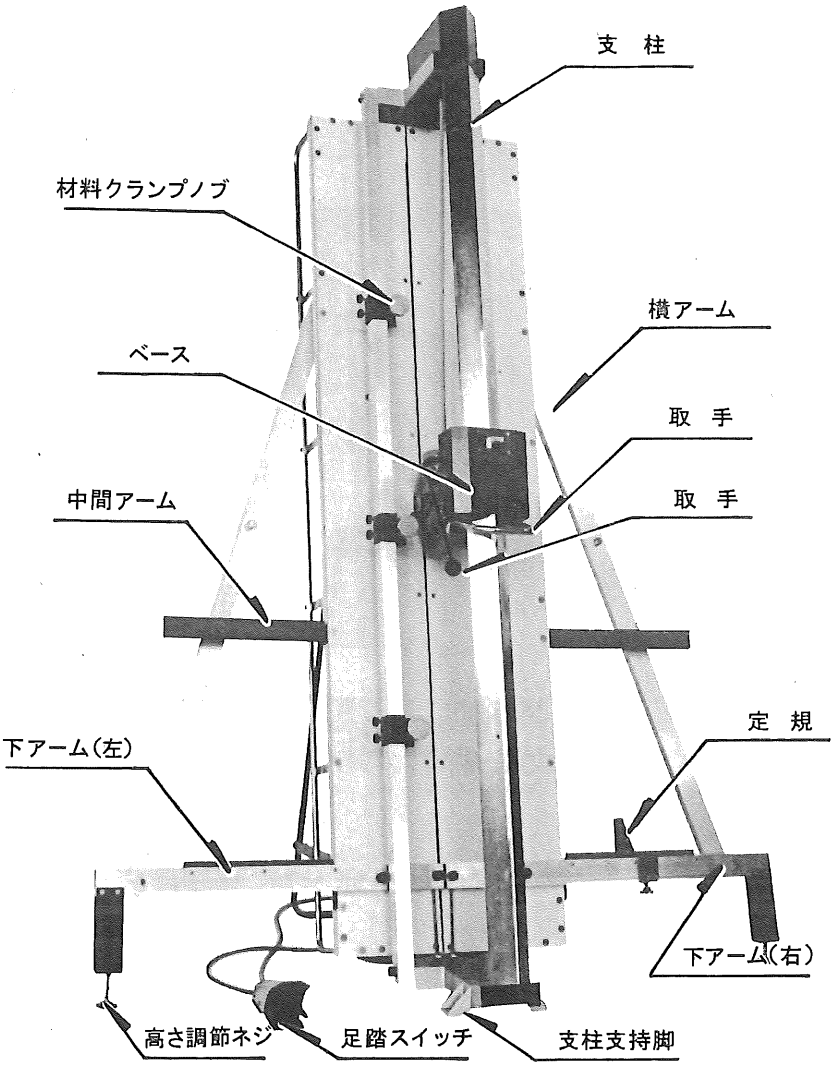
●仕　様

電圧……100Ｖ
電流……13Ａ
回転数……6000Ｒ．Ｐ．Ｍ．
切断能力
（高さ×厚さ×長さ）
1800㎜×50㎜×自由
丸鋸径……182㎜
重量……80kg

●通常附属品

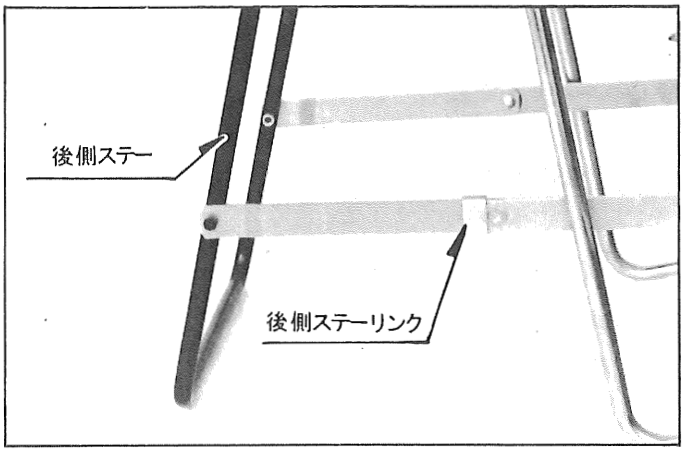
チップソー182㎜×20㎜、両口スパナ10×13
両口スパナ17×19、⊕ドライバー、片口スパナ21、ボックススパナ９

●各部名称

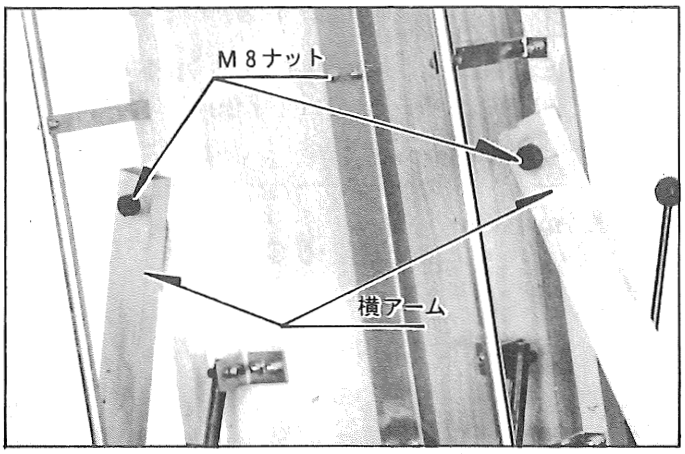


●組立順序

①後側ステーリンクを引き伸ばし、後側ステーと支柱支持脚で本体を支えます。

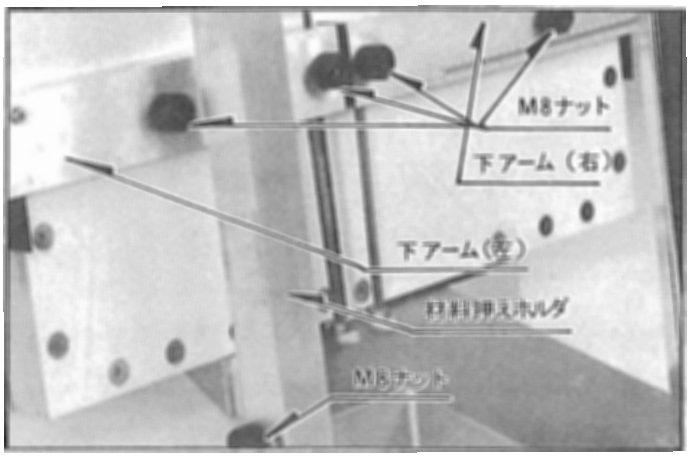


②横アーム２本を２ケのＭ８ナットで締付けます。

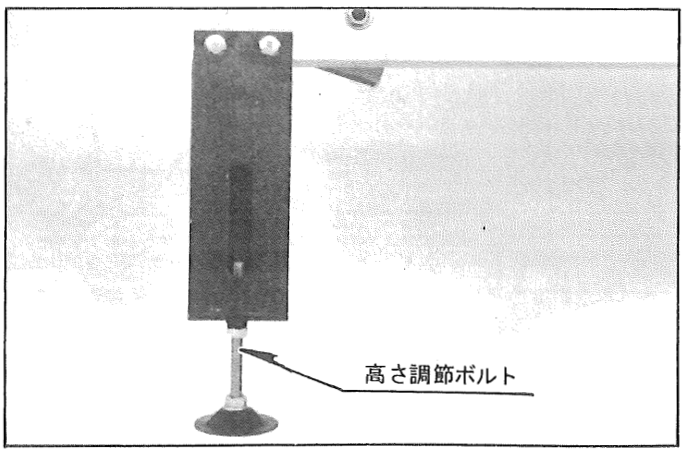


③材料押えホルダーのＭ８ナットを外し、けがき線２本の内、下側のけがき線に沿わせて下アーム（右）（左）を４ケのＭ８ナットで締付けた後、中間アームと材料押えホルダーをセットして下さい。

● 上側のけがき線は下アーム（右）（左）を取付ける場合の大体の目安位置とし、必ず下側のけがき線を基準にして下さい。



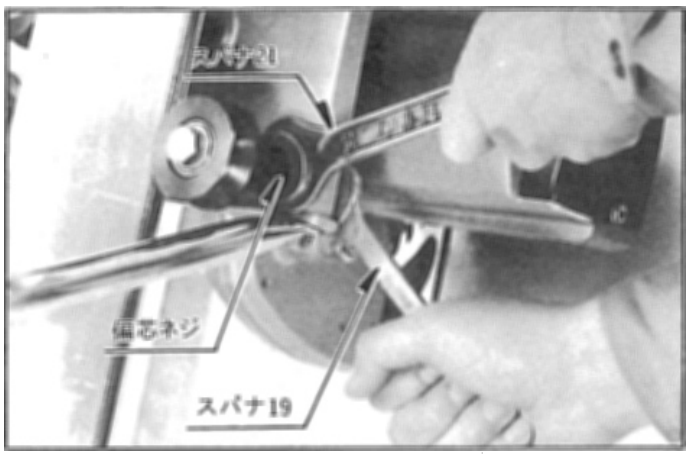
④左右２ケ所の高さ調節ボルトをボードガイドが水平位置にくるように接地させて下さい。



●ベースの摺動調整

●切断時にベースの振れが大きい場合は正確な切断が出来ません。又、ベースの摺動が重い場合には、切込みに力を要しますので、摺動調整が必要です。

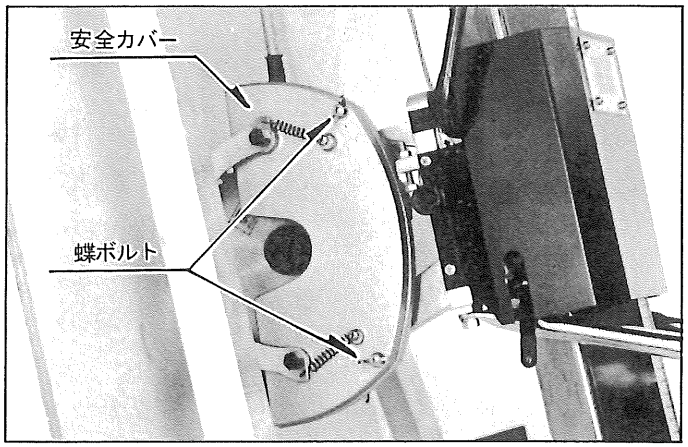
●偏心ネジの六角部にスパナ21を差し込み、六角ナットM12をゆるめて仮締めを行い、適正位置で六角ナットM12を締付けて下さい。



●丸鋸刃取替方法

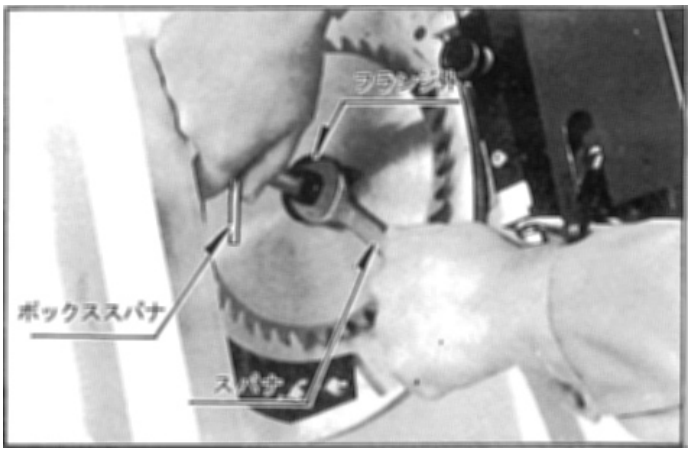
●切れ味の悪い丸鋸刃で切断しますとモーター焼の原因となります。切れ味が悪くなった丸鋸は早目に取替えて下さい。

①先づ２本の蝶ボルトをゆるめて安全カバーを取外します。



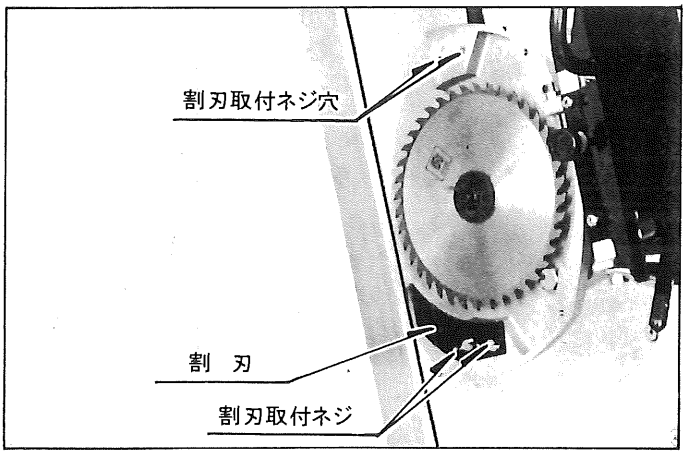
②フランジ（外）をスパナ21で固定し、ボックススパナで座付六角ボルトをゆるめ、座付六角ボルト、フランジ（外）、丸鋸刃の順で取外します。

●丸鋸刃の取付けは、取付方向（マークを表にして下さい）に注意し、取外しの逆要領で行なって下さい。



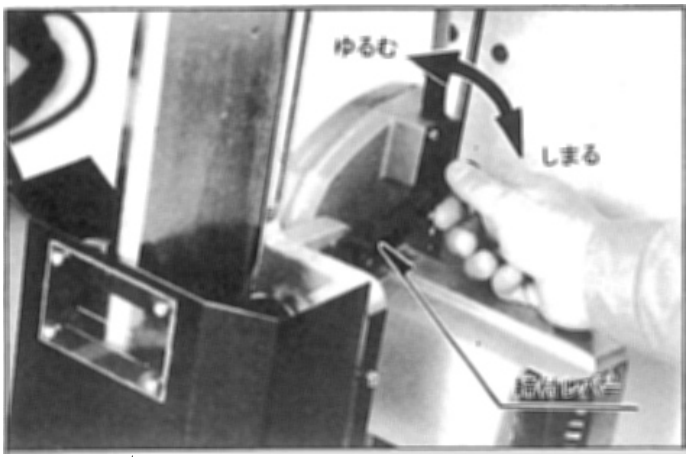
●割刃取付位置

●切断する方向により、割刃の取付け位置が異なります。下から上に向けて切断する場合には、ソーカバー（内）の下側に割刃を取付けて下さい。丸鋸刃を水平にして切断する場合には、ソーカバー（内）の上側に割刃を取付けて下さい。



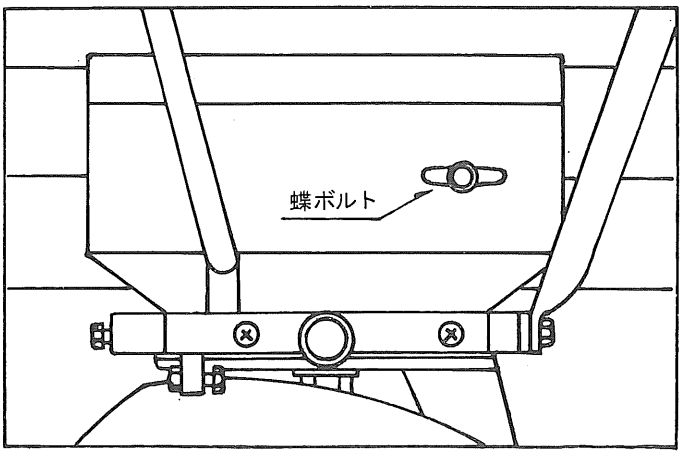
●切込量調整

丸鋸刃の切込量を調整する場合は、締付レバーをゆるめて調整を行った後、締付レバーを確実に締付けて下さい。



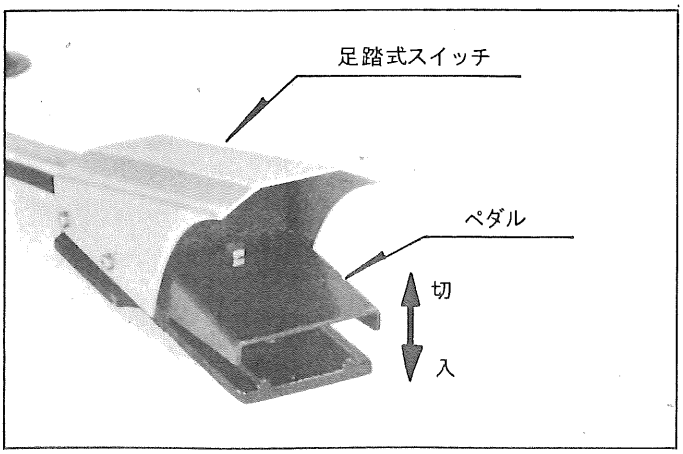
●ベースの固定方法

蝶ボルトを締付けることにより、ベースは支柱のどの位置でも固定することが出来ます。丸鋸刃を水平に向け、材料を移動させて切断する場合に、蝶ボルトでベースの固定を行なって下さい。



●スイッチ

- 安全な作業ができるように二重スイッチを採用しておりますので、ご使用前にはまず押ボタンスイッチを「ON」にして、足踏式スイッチにより操作して下さい。
- 足踏式スイッチはペダルを踏めばスイッチが入り、離すとスイッチが切れます。この時、モーターに逆起電力が働いてブレーキがかかり、瞬時に丸鋸刃はストップします。
- その場所を離れる時や、ご使用にならない時は必らず押ボタンスイッチを「OFF」にして下さい。

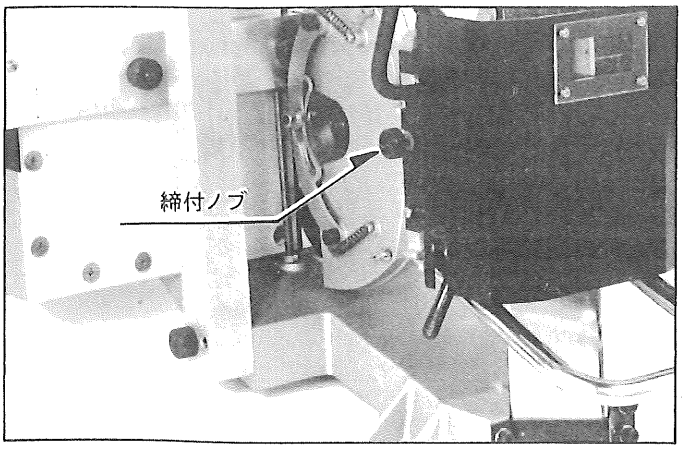


●切断方法

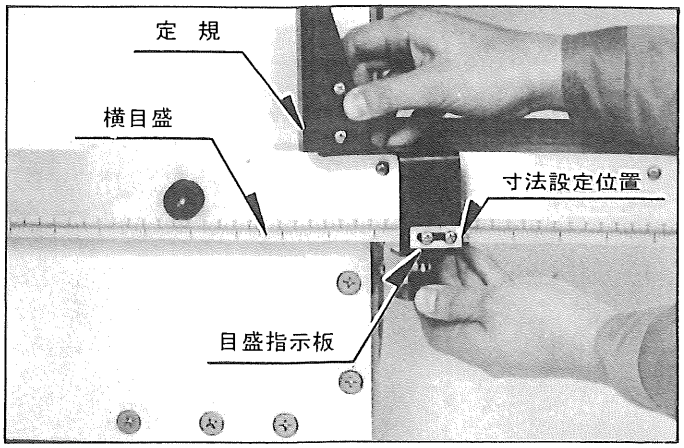
《縦（垂直）方向切断》

①丸鋸刃が垂直方向にセットされているか確認して下さい。垂直が出ていない場合は締付ノブをゆるめ、モーターケースがストッパーに当たる迄回転させ、締付ノブを締付けて下さい。

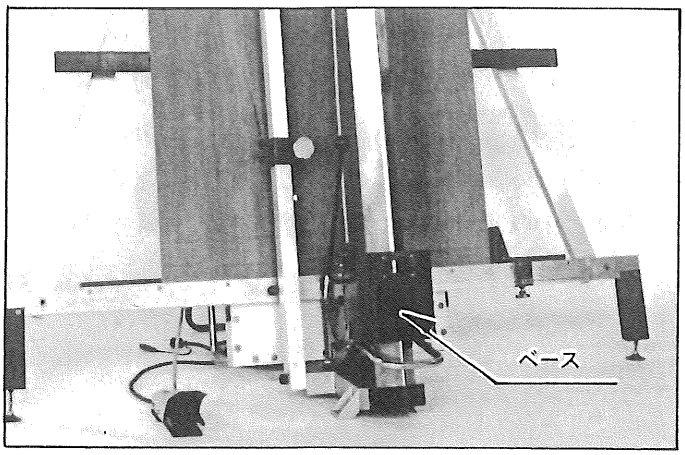
- 丸鋸刃の垂直が出ていない場合は、切込みが重くなったり、切れなくなる場合があります。丸鋸刃の垂直出しの微調整は、ストッパーで行って下さい。



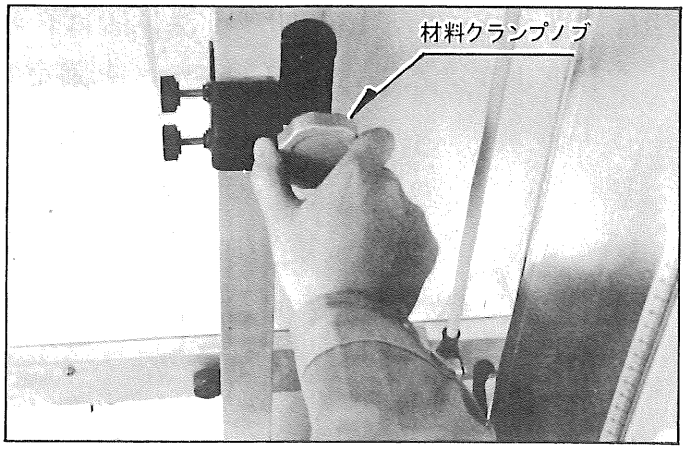
②定規を横目盛の切断する寸法にセットして下さい。



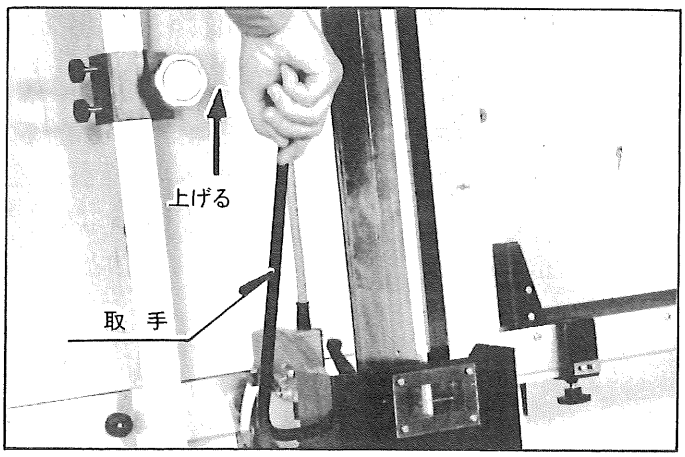
③ベースを下に止まる迄下げて下さい。



④材料を定規に止まる迄入れて、材料クランプノブを締付けて材料を固定して下さい。
●正確に切断する為には、ボードガイド上の切り屑を除去して切断を行って下さい。



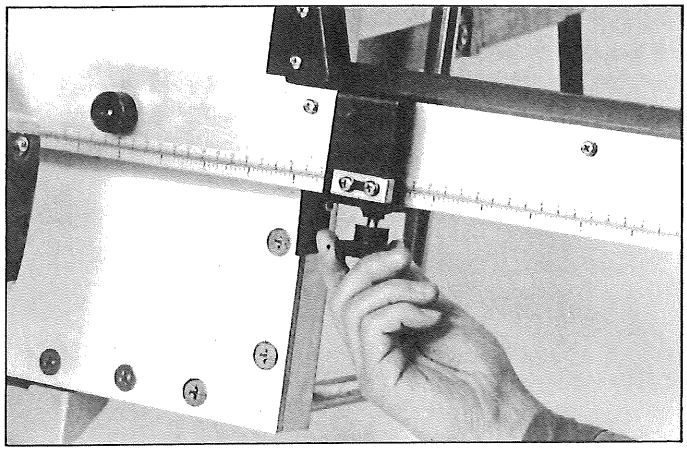
⑤足踏式スイッチのペダルを踏んでモーターを回転させ、取手を押し上げて切断して下さい。２種類の取手は材料高さに応じて使い分けて下さい。



《横方向切断》

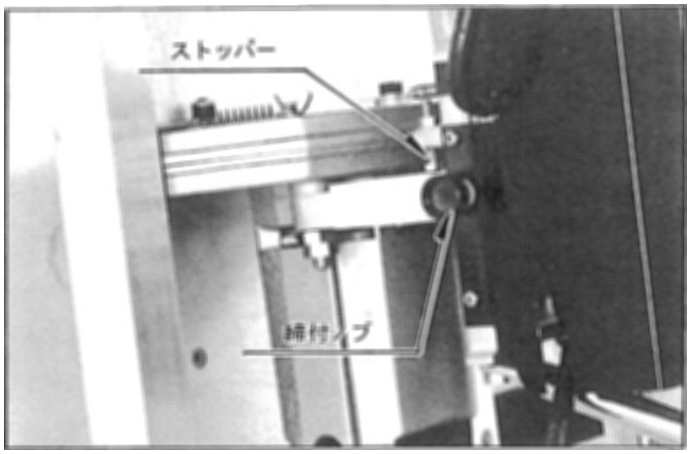
● 長い材料を長手方向に切断する場合は、横方向切断を行って下さい。

①定規を取外して下さい。

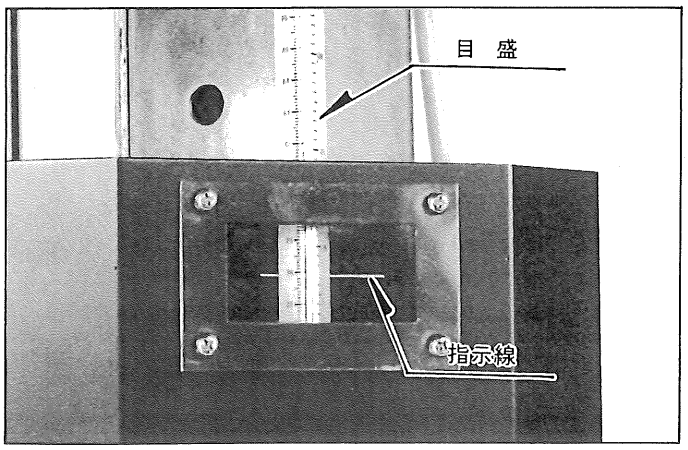


②締付ノブをゆるめ、モーターケースをストッパーに当たる迄回転させて鋸刃を水平にし、締付ノブを締付けた後、正面から見て割刃が右側へ取付くようにして下さい。

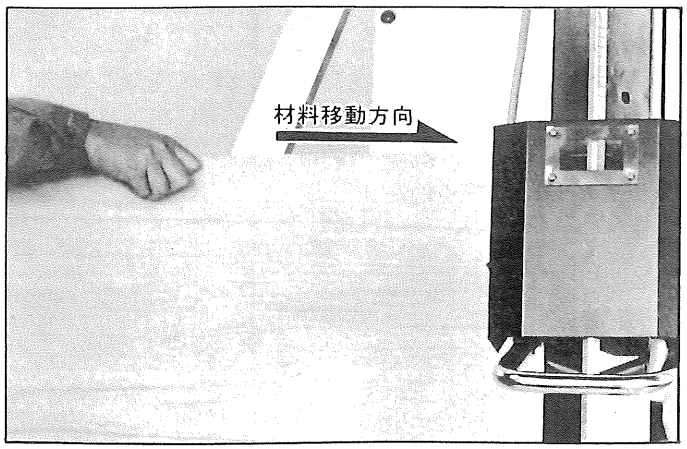
● 丸鋸刃の水平出しの微調整は、ストッパーで行って下さい。



③目盛指示板の指示線を切断寸法位置に合わせ、蝶ボルトを締付けて、ベースを固定して下さい。



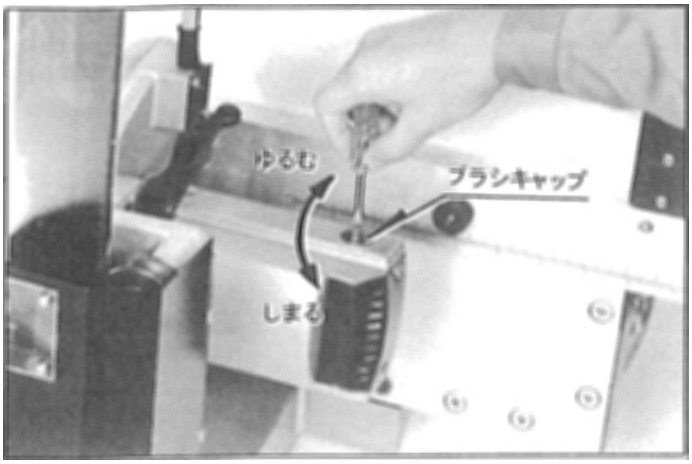
④切断材料をボードガイドに沿わせて右方向に移動させて下さい。

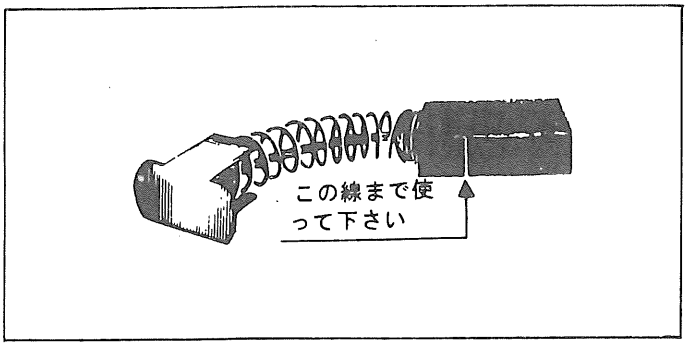


●保守と点検
〈カーボンブラシの交換〉

●カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは、時々点検を行ない、全長の1/3程度（横線位置）に摩耗したら、新しいカーボンブラシと交換して下さい。短く摩耗したカーボンブラシを使用しますと、モーター焼けの原因となる場合があります。

●カーボンブラシは、⊖ドライバーでブラシキャップを取外せば簡単に取出せます。





●特別附属品
（角度切り定規）

材料を斜に切断する場合は特別附属品の角度切り定規をご使用下さい。
取付方法は定規を取外し、定規取付個所へ定規と同じ取付要領で行って下さい。

検査合格証

● この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。

電気試験	機械検査	部品・包装
数本	河本	伊駒

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合せ下さい。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元

RYOBI リョービ東和 株式会社

〒464 名古屋市千種区春岡通り7の49
電話(052)761－5111

製造元

RYOBI リョービ 株式会社

〒726 広島県府中市目崎町762
電話(0847)41－4111